

U/Lルールについて

U/Lルールとは

- 国際航空運送協会（IATA）が定める国際的な発着枠調整ルール『Worldwide Slot Guideline』に基づくもの。
- 混雑空港における貴重な発着枠の有効活用のため、航空会社に配分された発着枠の**使用率が80%を切る場合**、翌年の同時期同時間帯における**発着枠の優先配分権利（ヒストリック）を得られなくなる**。
- 但し、航空会社の不可抗力の事由により欠航し発着枠が使用されなかった場合、**使用率の算定から除外**することができる。

■ U/Lルール 使用率算定例 (2012年冬期スケジュール (23週間) のケース)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	翌年の同時期 同時間帯における ヒストリック
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
例1					運航								欠航							運航				○ 期間の運航80%以上
	運航：19週（全体の83%）、欠航：4週（全体の17%）																							
例2			運航				欠航		運航		欠航		運航		欠航		運航		欠航					× 期間の運航80%未満
	運航：18週（全体の78%）、欠航：5週（全体の22%）																							

■ U/Lルールに基づく算定及びヒストリック確定の流れ (2013年冬期スケジュールのケース)

2013年3月30日 2012年冬期スケジュール終了

2013年4月上旬 各空港（羽田：東京空港事務所、成田：NAA）にて、当該期間中における各航空会社の発着枠使用率を算定
⇒ 80%を切る低利用率の航空会社について、各社へ事務連絡

2013年4月22日 当該期間中の使用率を基に算定した2013年冬期スケジュールにおける発着枠のヒストリックについて、国際線発着調整事務局より各航空会社へ確認依頼

2013年5月9日 2013年冬期スケジュールの発着枠のヒストリック確定